

イチヨウラン	<i>Dactylosteinia ringens</i> Rchb. f.	準絶滅危惧
		ラン科
選定理由	園芸目的の採取圧がある。	<p>写真(山崎玲子)</p> 
形態の特徴	高さは10-20cm。1-2cmの葉柄があり、鈍頭の円状広楕円形の葉を1枚茎の基部に付ける。花茎は1本出て1個の花が付く。萼片、側花弁は淡緑色で紫色の斑点がある。唇弁は白色で側裂片は丸く暗紫色。中裂片は倒卵形で紫色の斑点がある。基部に2条の隆起線がある。花期は5-7月。	
生態的特徴	深山の樹林下に生える。	
分布状況	北海道、本州、九州、四国に分布する。岐阜県では飛騨地方および美濃地方の東部と中部に分布する。	
減少要因	園芸目的の採取による。	
保全対策	採取の禁止。分布情報を公表しないことが望ましい。	
特記事項		
参考文献		
		

文責:山崎玲子